ふれあい大阪

No.66 2025年6月15日

発行責任者　松本昌三
編集責任者　山本　修

〈発行所〉大阪退職者連合　大阪市中央区大手前2-1-7
大阪赤十字会館5階／連合大阪内（〒540-0008）

Tel 06-6949-1105
Fax 06-6944-0055

2025大阪高齢者集会を開催

安心して暮らせる社会保障制度の確立を!

大阪退職者連合は、6月3日にドーンセンター（大阪市）で、「生き生きと安心して暮らせる社会にしよう！」のスローガンのもと「2025大阪高齢者集会」を開催しました。集会の参加者は、全体で420人、内女性が101人で24％の比率でした。

高齢者集会の第1部では、大阪府警府民安全課の皆さんによる寸劇と講演でした。最近とくに増えている「ＳＮＳ型投資･ロマンス詐欺」をテーマに、寸劇を含めて講演いただきました。

第2部では、主催者を代表して徳永会長があいさつを述べ、現役を代表して連合大阪田中宏和会長、日本退職者連合の岩崎長久副事務局長、立憲民主党大阪府連の山田健太副幹事長、国民民主党大阪府連の白岩正三幹事長から祝辞をいただきました。引き続き基調報告を、松本事務局長が提案しました。基調報告は、①連合大阪･現役組織と連携した活動の強化、②昨年の衆議院選挙での野党逆転の状況を生かして、7月の参議院選挙での連合推薦候補の全員の当選、③年金･医療･介護への取り組みでは、介護保険計画についての府域の自治体との意見交換を進め、次年度も引き続き取り組むことなどを提起、参加者全員で確認しました。ここで、7月の参議院選挙の大阪選挙区に立候補予定の橋口れい弁護士が集会に駆けつけ、立候補に向けた熱い挨拶をいただきました。続いて植本副会長が集会宣言を提案し、集会参加者全体で採択しました。最後に徳永会長の「団結ガンバロー」で締めくくりました。第3部のデモ行進は、朝からの雨の状況を判断して中止しました。

●SNS型投資･ロマンス詐欺の寸劇場面

社会保障制度改革の課題とは

高齢者集会の会長の挨拶から、社会保障制度の課題について掲載します。

超少子・高齢化・人口減少・労働力不足時代の社会保障制度改革は、核心となる年金・医療・介護はじめ持続可能な制度確立に向けた課題が山積しています。年金制度は、本年1.9%の引き上げが決定されましたが、コメ価格に代表される異常なまでの物価上昇による生活実態とはかけ離れた内容と言わざるを得ません。また、5年に一度の「財政検証」に基づく年金改正法案の国会議論が行なわれていますが、私たちの求める年金改正には多くの問題を残していますが、自民党と立憲民主党の修正協議により基礎年金部分の底上げを図ることが出来たことは歓迎する内容だといえます。今後も、国民年金拠出期間を40年から45年への延長、マクロ経済スライド調整のあり方などが議論の柱となります。日本退連の問題提起に基づいて取り組みの強化を図ります。

また、介護保険制度は、制度発足以来で最悪の改悪が目論まれ、自公政権は昨年決着予定でしたが、政権に対する強烈な逆風によって、議論が2027年からの計画に向けて「送りバント」された事態になっています。しかし、①ケアマネジメントの有料化、②要介護1・2の自治体事業への移行、③自己負担割合の3割への改悪は、必ず議論されます。

そして、医療保険制度は、高齢者をターゲットにした自己負担割合の改悪が目論まれています。「子ども子育て政策の推進」を声高に訴えて、社会保障関連予算のすげ替えによる高齢者の自己負担増が当たり前のように議論されようとしています。社会保障制度全般の改悪は、サービスの切り捨てと自己負担の増を基本とした、私たち高齢者の生活に直結する議論だけに、今後とも「全世代型社会保障構築会議」や関連する「審議会」の議論動向を注視する必要があります。

これらの問題解決に向けては、昨年の高齢者集会で問題提起をした「所得制限をつけず、全ての人に医療や介護、教育といったサービスを平等に配るようにする政策」いわゆるベーシックサービスの議論が必要です。子どもの貧困や育児、介護、教育、住宅など格差社会が生み出したリスクへの対応を含め、改めて突っ込んだ議論が重要です。

大阪退連は、この間、介護保険制度と高齢者保健福祉制度に関わって、大阪府と府域全自治体要請を行い、独自の取り組みも強めて参りました。今後とも連合大阪や日本退連と連携して、集会スローガンの「生き生きと安心して暮らせる社会」を目指して取り組みを強めます。

●生活の中で必要な社会保障制度の課題を共有する参加者たち

●あいさつする橋口れい立候補予定者

ジェンダー平等の取り組みを推進

挨拶の2点目は、ジェンダー平等の課題です。コロナ禍の影響で特徴的に現れたのは、ジェンダー格差の実態です。感染症拡大が直撃した職種・職場は、対人サービス業や医療・福祉産業で、女性就労者が多くを占めています。そして、非正規労働者は圧倒的に女性が多く存在し、大変な苦労を強いられている現状を明らかにしました。

日本は、2024年のジェンダーギャップ指数で世界146カ国中、118位と引き続き情けない結果が発表されました。当然、先進国の中では最低レベル、アジア諸国の中でも最悪の結果となっています。

女性が多く参加している企業や団体は、間違いなく社会を変える対策が進んでいますし、働きやすい職場実態を造り上げています。しっかりと現状を認識し、みんなで社会を変えていかなくてはなりません。

労働組合や退職者会は、残念ながらジェンダー平等の取り組みがかなり遅いと思います。自己反省をしつつ運動の推進を図りたいと考えています。

大阪退連は、昨年11月の総会でジェンダー平等アクションプランを確認し、各構成組織の取り組み強化を進めています。構成組織の組織形態や組合員の男女比率の違いがあることから、一律的なアクションプランとしての具体化は難しい状況ではありますが、全体が認識の共有を図る中で積極的な取り組みを行ってまいります。

多様性を尊重する社会に向けた取り組みの重要な一歩は、女性の参加拡大によるジェンダー平等実現です。退職者運動がその先陣を担っていく運動の展開を強く推し進めて行かなければならないと考えていますので、皆さまのご協力をお願いします。

●あいさつする徳永会長

参議院選挙 連合・連合大阪推薦候補者（予定）

田村麻美（たむらまみ）
国民民主党
現職1期

礒﨑哲史（いそざきてつじ）
国民民主党
現職2期

岸真紀子（きしまきこ）
立憲民主党
現職1期

平戸航太（ひらどこうた）
国民民主党
新人

郡山玲（こおりやまりょう）
立憲民主党
新人

小澤雅仁（おざわまさひと）
立憲民主党
現職1期

水岡俊一（みずおかしゅんいち）
立憲民主党
現職3期

浜野喜史（はまのよしふみ）
国民民主党
現職2期

吉川沙織（よしかわさおり）
立憲民主党
現職3期

森屋隆（もりやたかし）
立憲民主党
現職1期

2025退職者連合近畿ブロックハイキング

クラシック音楽と大阪城ハイキング

日時 2025年10月16日（木）11時〜オープニング

場所 大阪城公園 野外音楽堂

音楽演奏 アフター・アワーズ・セッション

アフター・アワーズ・セッションは、京阪神のオーケストラの団員やソリストとして活動している演奏家たちが、より自由な編成で室内楽に取り組むことを目的に1997年に結成されました。大阪城音楽堂では、木管五重奏（フルート・オーボエ・クラリネット・ホルン・ファゴット）の「セッション・ファイブ」の演奏を予定しています。